


2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX)募集要項

*注1: WB, ADB, IMFの要学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/

趣旨と前提条件	<p>①この交換留学制度は、東京大学大学院公共政策学教育部に在籍中の学生が対象です(来年度から入学が決まっている学生も応募することができます)。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、英語も十分にできる学生が、その語学力を生かして東京大学公共政策学教育部とは異なる環境で学習することです。その趣旨を十分ご理解の上、応募ください。おもな前提条件は、TOEFL iBTで90点以上、最低でもIBT 85点以上、大学によってはマイクロ経済学、又はミクロ・マクロ経済学、最低基礎レベル(学部で学習済みでも可)を履修済みであることが条件となることでもあります。それは、派遣先大学によっては一年時にミクロ経済学、又はミクロ・マクロ経済学の履修を義務付けている大学もあるので、対等の基礎学力を前提とするためです。</p> <p>②最終的な合格は、東京大学公共政策学教育部より推薦後、派遣先大学が決定します。</p> <p>③こちらの基準をクリアしていても、スタートアップ講習等の補習が必要と派遣先大学の判断によっては、補習を受けなければならない場合があります。その場合の費用は自己負担です。</p> <p>④派遣先大学への入学手続き、ビザの申請、宿舎の準備、留学保険の準備、単位認定の調査・申請等、留学に係るすべての手続き及び準備は自己の責任において行ってください。</p> <p>⑤留学のために発生する授業料以外の費用はすべて自己で負担していただきます。</p>
応募資格	<p>① 東京大学公共政策学教育部正規過程に在籍する学生であること</p> <p>② 派遣前までにTOEFLスコアが最低でもIBT90点以上 (or IELTS6.5以上) であること (職業経験のある学生は優先される場合も有) *各協定校のページにて要確認</p> <p>※TOEFL iBTおよびIELTSスコアについて: 東京大学公共政策学教育部での書類審査において交換留学希望者に求める点数は、TOEFL iBT 85点(or IELTS6.5)以上必須。</p>
留学中の身分と授業料	<p>この交換留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、協定大学へ留学をします。協定大学では学位を取らない特別聴講生(特別聴講生)となります。留学期間中の授業料は東京大学へ支払い、留学先の大学へは授業料を支払いません。</p> <p>※東京大学では、入学後に「休学」という身分で、他大学院へ留学すると、休学期間は授業料を免除されますが、その期間は在学年数に算入されません。</p>
単位認定・振替について	<p>本人の申請により、帰国後に協定大学において履修した科目を東京大学において23単位を超えない範囲で単位認定する予定です。内容、授業時間、単位数等を東京大学の規則に則り認定の可否を審議しますので、すべての単位が認定されるわけではありません。修了要件を満たすに十分かつスケジュールを立て、取りたいクラスが決まった時点で東大で認定可能かどうかよく確認するようにしてください。 (事前認定制度のご利用をお勧めします。)</p>
奨学金制度	<p>1. 東京大学海外派遣奨学金事業2017年度海外留学等奨学金への申請可 2. 留学生交流支援制度(短期派遣)(JASSO)への申請可 3. 公共政策大学院国際化推進プログラム寄付金奨学金制度への申請可 **受給は審査合格者のみ</p>
応募書類 公共政策学教育部提出用	<p>①海外交換留学申請書および志望動機書(英文で500~1000words) ②TOEFL or IELTS成績証明書(原本又は写し)*過去2年以内に受験したものに限る ③成績証明書(コピー可) **GraSPP側での面接合格者には、成績証明書(英文)の原本と教員の推薦状(英文)の提出を求めますのでご準備ください ***各大学への提出書類は合格者に直接通知します</p>
応募書類提出方法 提出先	<p>応募書類は電子データで提出してください。 電子データ提出先: exchange@pp.u-tokyo.ac.jp 東京大学大学院公共政策学教育部 国際企画チーム 交換留学プログラム担当 Study Application (Your first name "FAMILY NAME")としてください。お名前はローマ字、姓は大文字にしてください。 ※メールのタイトルは"2016 Exchange Study Application"</p>
問い合わせ先	<p>問い合わせはE-mailもしくは電話にて受け付けます。宛先: 国際企画チーム交換留学プログラム担当 第二本部棟629号室 メールアドレス: exchange@pp.u-tokyo.ac.jp 電話番号: 03-5841-0220</p>
スケジュール (予定は変更される場合があります)	<p>GraSPP応募締切 (FGV①以外): 11月20日(日) 書類選考及びGraSPP教員の面接: 12月7日~9日(予定) (※面接日程の詳細は、書類選考通過者には数日前までにメールにて通知) GraSPP側の合格者決定: 12月中旬 派遣先への書類GraSPPへ提出: 2月下旬まで *協定校による</p>


2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX)募集要項

*注1: WB, ADB, IMFの理学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/>

協定校	 <p>アッシュ・ウ・セ経営学院 (HEC Paris)</p> <p>The more you know, the more you dare®</p>
所在地	フランス、ヴェルサイユ近郊
応募資格	* 職業経験のある学生は優先される
募集人数と派遣期間	1~2名 ①2017.9 ~ 2017.12 (2016 Fall Semester) ②2017.9 ~ 2018.5 (Academic Year 2016-2017)
特色	<p>HECは1881年に「パリ工商会議所 (Chambre de commerce et d'industrie de Paris:CCIP)」によって設立され、フランスの名門グランゼコールの一つとして、フランス・ヨーロッパの政財界に数多くの人材を輩出し続けている。現在でもフランスの主要企業のTop managementの多くが当大学院のAlumniで占められており、グローバルでもFortune 500のCEO数でHECのAlumniが全世界で常にトップを争っている。国際的評価も極めて高く、Financial TimesのEuropean Business School Rankingsでは、HEC Parisが例年No.1にrankされに加え、Full-Time MBA, Part-Time MBA, Executive MBA, MS&E等の非常に幅広いプログラムを提供しており、それぞれが高い評価を受ける一方、有名な研究機関としての側面もあります。</p> <p>“the more you know, the more you dare”をモットーとし、HECのDean(Bernard Ramanantsoa)は講演においてこのモットーの意味を以下のような主旨で説明しています。</p> <p>「HECでは確固とした知識やスキルを身につけることが新しいものを考え作り出す意欲や力を生むと考えている。しかしただ知識やスキルを得るだけでは十分ではない、これらは陳腐化するため、自ら新しいものを求め、吸収し、考えていくことが求められる。得た知識やスキルをベースに自ら進んで探求し、新しいものを生み出していく人材こそが真のエリートであり、そういう人材を育てるというのがこのモットーに込められた意味だ。」</p>
参考HP	http://www.hec.edu
留学のモデルコース	<p>留学して単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。</p> <p>留学期間は、最長1年間です。アッシュ・ウ・セは、おおよそ秋学期は、9月第一週より12月まで、春学期は、2月第一週から5月です。</p> <p>(A)2年生が、秋学期のみ留学。帰国後3月に卒業。 (B)1年生が、秋学期より半年間留学、帰国後1年を経て卒業。 (C)1年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。</p> <p>なお、東京大学での在籍が二年間以上になっても構わないという場合には、(D)2年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。</p> <p>日程については、下記URLを参照してください。</p>
費用	前述のように、留学期間の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチしてください。
プログラム	International Exchange Non Degree Programs プログラムの詳細については、下記のリンクより2つのPDFファイルにアクセス可能ですので、そちらをご参照ください。
参考HP	<ol style="list-style-type: none"> 1. Exchange Program Guide 2. Exchange Program Course Offer
寮について	<p>HECはキャンパス内には様々なタイプの居住施設があり、交換留学生の居住は優先的に確保されます。ご参考までに住居のタイプと一ヶ月にかかる費用は以下の通りです。</p> <p>2014年度の寮費：</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学生寮、共同バスルーム - 450ユーロ (約65,700円) ③学生寮、プライベートバスルーム - 580ユーロ (約84,680円) ②2人でのアパートメントシェア - 680ユーロ (約99,280円) <p>*入寮時にデポジット(払い戻し可)として430ユーロ(約62,780円)および、諸手続き費(払い戻し不可)として175ユーロ(約25,550円)が別途かかります。</p>
参考HP	http://www.hec.edu/Masters-programs/Campus/Accommodation


2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX) 募集要項

*注1: WB, ADB, IMFの奨学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/>

協定校	 <p>シンガポール国立大学 (NUS) リー・クワンユー公共政策大学院 (LKY-SPP)</p>
所在地	シンガポール
応募資格	* TOEFLスコア:最低でもBT90点(理想は93点)以上は必須 * 基礎的なマイクロ経済学を履修済みの者
募集人数	1~2名
派遣期間	①2017年8月~2017年12月 2017 Semester 1
特色	リー・クワンユー公共政策大学院は、常にアジア及び世界ランクトップに選ばれているシンガポール国立大学に属する大学院である。2014年には、世界中の大学ランキング情報誌QSによってアジアトップ、更には世界ランク22位と称された。また、大学院の授業においても、学生たちは教授や学者・実業家による講義からだけでなく、世界中から集まるクラスメイト連とのディスカッションや意見交換を通して多くの学びの機会がある。現在は、50か国以上から来ている政治政策や法律、メディアなどの分野に精通した400人余りの学生が所属しており、予想をはるかに超えた多様性とダイナミズムを経験出来る環境を提供している。
参考HP	http://www.spp.nus.edu.sg/
留学のモデルコース	留学して単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。 留学期間は、5ヶ月間です。LKY-SPPの授業期間は、おおよそ、秋学期は8月第2週より12月までです。 (A)2年生が、秋学期の半年間のみの留学。帰国後3月に卒業。 (B)1年生が、秋学期より半年間留学、帰国後1年を経て卒業。 日程については、下記URLを参照してください。
費用	前述のように、留学期間の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチをしてください。
プログラム	Master of Public Policy, Lee Kuan Yew School of Public Policy http://www.spp.nus.edu.sg/Master_Public_Policy.aspx
アカデミックカレンダー	http://lky.spp.nus.edu.sg/admissions/graduate-programmes/master-in-public-policy-mpp/mpp-curriculum/
寮について	寮は、抽選制です。このほか、学生専用の寮(一軒寮をシェアする)も大学の近くにあり。寮の費用は日本円でひと月約6~7万円です。
参考HP	https://sites.google.com/site/collegegreenhostel/home

2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX)募集要項

**注1: WB, ADB, IMFの現学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/>

協定校	Hertie School of Governance 
所在地	ドイツ、ベルリン
応募資格	* TOEFLスコア: iBT100点(最低でも96点)以上 * 職業経験のある学生は優先される * 1年次のコア科目を履修済みであること
募集人数	1~2名
派遣期間	①2017年9月~2018年1月 2017 Fall Term
特色	ヘルティースクール・オブ・ガバナンス(HSoG)は、ドイツ国内で初めて設立された公共政策学の専門職大学院である。2005年には、「設立以来さまざまな発展している。学位取得のための国際的な学生交流プログラムも立ち上げ、教員と学生との関係も模範的である」としてドイツ学術評議会(Wissenschaftsrat)から評価された。 HSoGは、世界トップレベルの公共政策系大学院によるネットワーク「世界公共政策ネットワーク(GPPN)」にも積極的に参加しており、ロンドン大学国際・公共政策大学院(SIPA)、パリ政治学院(SciencesPo)、やロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)とのダブル・ディグリー・プログラムやシンガポール国立大学リー・クワンユー公共政策大学院(LKYSP)との学生交流プログラムなどを実施している。2012年、東京大学公共政策大学院とともに、GPPNへの正式加盟が認められた。昨年のヘルティ交換留学者によると、ヘルティには多国籍で世界中の有名大学(例えばLSE、コロンビア、UCLA等)から優秀な学生達がこぞって集って来ており、授業は少人数制で多様性に富んでおり教授との距離も大変近く、ゲストスピーカーや特別講義なども頻りに行われるとの事。
参考HP	http://www.hertie-school.org/
留学のモデルコース	留学して単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。 留学期間は、最長6カ月間です。HSoGの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第1週より12月中旬までです。 (A)2年生が、秋学期の半年間留学。帰国後3月に卒業。 (B)11年生が、秋学期より半年間留学、帰国後1年を経て卒業。 日程については、下記URLを参照してください。
費用	前述のように、留学期間の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチをしてください。留学経験者からは、ベルリンの物価は比較的安く学習サービス等も充実しているため非常に住みやすい、との報告を受けています。
プログラム	Master of Public Policy (MPP) http://www.hertie-school.org/mpp/
アカデミックカレンダー	http://www.hertie-school.org/campus/student-services/incoming-students/academic-calendar/
寮について	HSoGには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようにしてください。
参考HP	http://www.hertie-school.org/campus/student-services/housing/

2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX) 募集要項

*注1: WB, ADB, IMFの理学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/>

協定校	<p>SciencesPo SCHOOL OF PUBLIC AFFAIRS パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.)</p>
所在地	フランス、パリ
募集人数	1~2名
派遣期間	①2017年9月~2018年1月 (2017 1st Semester) ②2017年9月~2018年5月 (Academic Year 2017-2018)
特色	<p>フランス独自の制度、グランセコール(エリート養成のために国家が設置している高等教育研究機関)。9つあるシアンスポのうち、パリは一番古く別格で、歴代フランス大統領などを数多く輩出してきた。即戦力となる幹部公務員や企業幹部の養成を目的としている。2016年のQS Rankingでは、Politics & International Studiesの分野で世界4位と称された。新設された部局(School of Public Affairs)の下、メインの修士プログラムがMaster of Public Policyへと改変されたが、今まで通り12の修士プログラムへの所属やプログラムをまたぐ履修も可能で、以前ほど職業経歴やフランス語の知識が優先されることがなくなった。</p> <p>強みとしては、ヨーロッパ圏内を比較的簡単に移動できる、パリにはOECD本部があるので1年間留学する学生にはOECDでのインターンシップにチャレンジ出来る可能性がある。</p>
参考HP	http://sciences-po.eu/
留学のモデルコース	<p>留学して単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。</p> <p>留学期間は、最長1年間です。シアンスポの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第一週より1月まで、春学期は、1月第2週から5月です。</p> <p>(A)2年生が、秋学期の半年間のみの留学。帰国後3月に卒業。 (B)1年生が、秋学期より半年間留学、帰国後1年を経て卒業。 (C)1年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。</p> <p>なお、東京大学での在籍が二年間以上になっても構わないという場合には、(D)2年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。日程については、下記URLを参照してください。</p>
費用	<p>前述のように、留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチをしてください。</p>
プログラム	Paris School of International Affairs (PSIA)
アカデミックカレンダー	http://www.sciencespo.fr/psia/ http://formation.sciences-po.fr/en/contenu/university-calendar
寮について	シアンスポには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようしてください。特に、フランス学生ビザの申請には、住居証明が必要になりますので、5月頃には住居を確定していることをお勧めします。
参考HP	http://www.international.sciences-po.fr/en/living-france

2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX) 募集要項

**注1: WB, ADB, IMFの現学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/>



カリフォルニア大学サンディエゴ校
 School of Global Policy
 and Strategy
 (GPS, former IR/PS, UCSD)

アメリカ合衆国、カリフォルニア

* TOEFLスコア: 最低でもiBT90点(理想は100点)以上

若干名

- ①2017年9月～2018年12月(2017 Fall Quarter)
- ②2017年9月～2018年3月 2017 (Fall & Winter Quarters)

カリフォルニア大学で唯一、米国と太平洋地域(アジア)の関係に焦点をおいた国際関係学の専門職大学院。創立わずか20年ながら、Foreign Policy誌では国際政治分野でトップ10にランクされました。カリキュラムは国際関係、公共政策、およびマネジメントの各分野から学際的に構成されている。

<http://ucsd.edu/>

留学して単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。

留学期間は最長半年(2学期)間です。GPSの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第4週より12月まで、冬学期は、1月下旬から3月までです。

- (A)2年生が、秋学期の3カ月間のみ留学。帰国後3月に卒業。
- (B)1年生が、秋学期より3カ月間留学、帰国後1年半を経て卒業。
- (C)1年生が、秋学期より6カ月間留学、帰国後、1年を経て卒業。

なお、東京大学での在籍が二年間以上になっても構わないという場合には、(D)2年生の秋学期から半年間留学、という可能性もあります。日程については、下記URLを参照してください。

前述のように、留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチをしてください。

School of Global Policy & Strategy

<http://gps.ucsd.edu/>


<http://blink.ucsd.edu/instructors/resources/academic/calendars/2017.html>

学生寮は抽選制です。キャンパス近辺のアパートを学生同士でシェアをする物件もあります。

<https://hdh.ucsd.edu/housing/roomtype.asp>


2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX) 募集要項

*注1: WB, ADB, IMFの奨学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/>

協定校	 <p>ASIA AND EUROPE IN A GLOBAL CONTEXT Shifting Asymmetries in Cultural Flows</p> <p>ハイデルベルク大学クラスター・オブ・エクセレンス「グローバルな文脈におけるアジアとヨーロッパ」 Graduate Programme for Transcultural Studies (GPTS)</p>
所在地	ドイツ、ハイデルベルク
応募資格	*ドイツ語の知識がある学生は履修の幅が広がる
募集人数	1～2名まで
派遣期間	①2017年10月～2018年2月 (2017Winter Semester) ②2017年10月～2018年8月 (Academic Year 2017-2018)
特色	ハイデルベルク大学のクラスター・オブ・エクセレンス「グローバルな文脈におけるアジアとヨーロッパ」は、2007年より開始された学際的な人文・社会科学分野の共同研究事業である。ハイデルベルク州、ハイデルベルク市にあるドイツで最古の大学で、1386年、フアツツ皇帝腓特烈1世によって創立された。ドイツ有数の世界的な大学であり、哲学者のヘーゲルや社会学者のマックス・ヴェーバーらを輩出している。通称はハイデルベルク大学。ドイツ九大エリート大学のひとつとされている。The Times Higher Education World University Rankings 2012-2013では78位。ハイデルベルク大学はドイツ国内では国際化の最も進んだ研究大学のひとつである。
参考HP	http://www.uni-heidelberg.de/index_e.html
留学のモデルコース	<p>留学して単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。</p> <p>留学期間は、最長1年間です。ハイデルベルクの授業期間は、おおよそ冬学期は10月中旬～2月初旬まで、春学期は3月から7月です。</p> <p>(A)2年生が、秋学期の半年間留学。帰国後3月に卒業。 (B)1年生が、秋学期より半年間留学。帰国後1年を経て卒業。 (C)1年生が、秋学期より1年間留学。帰国後半年を経て卒業。</p> <p>なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(D)2年生の秋学期から1年間留学、という可能性もあります。 日程については、下記URLを参照してください。</p>
費用	前述のように、留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチをしてください。
プログラム	Cluster of Excellence Asia and Europe in a Global Context Graduate Programme for Transcultural Studies (GPTS) http://www.asia-europe.uni-heidelberg.de/en/about-us.html
アカデミックカレンダー	http://www.uni-heidelberg.de/courses/prospective/admission_int_guide/online_guide_index.html
寮について	ハイデルベルクには外部が運営する学生寮があり、下記リンクより直接申請可能です。交換留学生の部屋はなるべく優先的に確保されますが、部屋教自体に限りがあるため、早めの申請をお勧めします。 また、キャンパス近辺のアパートなどの情報については、下記メールアドレスまで直接お問い合わせいただけます。
参考HP	Student Residences by Studierendenwerk http://www.studierendenwerk.uni-heidelberg.de/ Private Accomodation by Akademische Auslandsamt aaazimmer@zuv.uni-heidelberg.de

2017年度派遣 公共政策学教育部 交換留学(EX) 募集要項

*注1: WB, ADB, IMFの奨学生においては交換留学プログラムは対象外となります
 **注2: 要項の更なる詳細は以下のウェブサイトをご確認ください <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/double-degree-program/>

協定校	 <p>FUNDAÇÃO GETULIO VARGAS Escola de Administração de Empresas de São Paulo Fundação Getulio Vargas (FGV) - EAESP</p>
所在地	サンパウロ、ブラジル
募集締切	①11月6日(日)まで(厳守) *11月15日(火)面接予定 ②他協定校と同様
募集人数	1~2名
派遣期間	①2017年2月~7月 (2017 1st Semester) *①に限り他校とは募集スケジュールが若干異なるのでご注意ください ②2017年8月~12月 (2017 2nd Semester)
特色	ジェトロ・リオ・ヴァリアルガス財団サンパウロ・ビジネススクール(FGV/EAESP)は、ブラジルの変革期における課題に取り組み人材を育成するために、ブラジル政府・経済界、およびミシガン州立大学の協力によって1954年に設立された。 EAESPは3000人以上の学生、260人の教授、そして100人以上の職員や何千人もの卒業生がおり、研究においてはブラジル国内に留まらず世界中で最前線をゆくばかりが、実務演習をいち早く取り込んだ学校である。 EAESPの世界をリードする研究は博士課程や国内外の共同研究の質の高さによって示されている。
参考HP	http://www.masterdegree.jp/%E5%A4%A7%E5%A9%A6/%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%B8%E3%83%AB/FGV-EAESP/
留学のモデルコース	留学して単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。 留学期間は、5ヶ月間です。FGVの授業期間は1学期は2月上旬~6月下旬、2学期は8月初旬~12月中旬です。 * 派遣生は遅くとも授業開始一週間前までの渡航が推奨されているため、東大での試験日程等自己責任において調整が必要。 (A)1年生が、夏休みか冬休みから半年間留学、帰国後半年か1年を経て卒業。 (B)9月入学した2年生が、冬休みから半年間のみの留学。帰国後9月に卒業。 なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(C)4月入学した2年生の冬休みから半年留学、という可能性もあります。詳しい日程については別途お問い合わせください。 また、留学中に(伯国三愛商事にて)インターシップが出来る可能性もありますので別途ご相談ください。
費用	前述のように、留学期間の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチをしてください。
プログラム	Masters in Public Policy and Management (MPGPP) http://mpgpp.fgv.br/
アカデミックカレンダー	http://eaesp.fgvsp.br/en/frv-eaesp-sites
寮について	FGVには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めのリサーチするようしてください。 また、現地の国際交流室にはアハートのリストなどの参考資料もあるので、家賃や安全面を含む住環境について相談する事をお勧めします。
参考HP	http://eaesp.fgvsp.br/en/courses/doing/accommodation